

質問事項に対する回答書

(件名)磐越自動車道 宝珠山トンネル工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
1	7月16日	数量明細表	1		<p>当社が土工横断図(本線切土部)および仮置き土横断図を基に集計した切土量(表土を除く)は、下記の①～②の数量となりました。</p> <p>①設計図(1/5)土工-24/68横断図(1) ～68/68横断図(45):約15,900m³ (内訳は、工事起点STA.687+56～STA.700+00:約7,350m³ STA.702+20～STA.709+29:約2,160m³ STA.709+29～STA.715+60:約1,480m³ STA.721+80～STA.725+00:約1,970m³ STA.726+20～STA.729+51:約2,890m³ STA.729+51～工事終点STA.735+46:50m³) ②設計図(4/5)附帯工-38/87仮置土横断図(1) ～42/87仮置土横断図(5):約17,640m³ (内訳は、STA.702+20～STA.704+40:約5,850m³、 STA.723+00～STA.724+00:約11,790m³) 本工事では盛土量が切土量を上回るため、「切土量(表土を除く)」=「道路掘削 土砂」となります。また、質問に対する回答書20-4において、③～④も「道路掘削 土砂」に含むと回答いただいております。 ③補強土壁工の掘削:614m³ ④盛土のり面対策工の掘削:844m³ ①～④の集計数量(約35,000m³)と数量明細表における「道路掘削 土砂」の「土工」欄の設計数量37,922m³とを比較すると大きな誤差(約2,900m³)が生じています。 ①～④以外に切土発生箇所がございましたらご教示ください。また、上記の集計数量と御社の設計数量が整合していない箇所がありましたらご教示ください。</p>	トンネル坑口部における面壁から明かり部側への切土も設計数量に含めています。
2	7月16日	特記仕様書	1	25-2-1	表土以外の切土および仮置土において32tブルドーザを使用した掘削、積込を計画されているかどうかご教示ください。使用されている場合、この機械の分解組立費の計上先をご教示ください。	交付図書に示すとおりです。
3	7月16日	割掛対象表参考内訳書	1		土木工事積算基準書P.2-5において、質量20t以上のブルドーザは分解・組立が必要とされていますが、割掛対象表参考内訳書ではブルドーザ重量20tが工事用機械運搬費(土工)に分類されています。ご確認ください。	割掛対象表参考内訳書に関する質問は受け付けておりません。
4	7月16日	設計図(2/5)一小松上の沢橋(下部工)	2/43、41/43		質問に対する回答書28-2において、「構造物掘削の土質区分は地質柱状図を基に貴社にて計画願います」と回答いただいておりますが、小松上の沢橋A2橋台における構造物掘削は複数の土質(土砂、軟岩)が混在し、掘削形状・現地盤形状が複雑なことから、設計図から土質区分毎の掘削数量を算定できません。本構造物の構造物掘削における土質区分毎の掘削数量をご教示ください。	質問事項に対する回答書28の質問番号2にて、回答させていただいたとおりです。
5	7月16日	設計図(2/5)一草水高架橋(下部工)	4/75		設計図が不鮮明なため、基礎杭における土質別の掘削長(N<20の土砂、N<50の土砂、軟岩、硬岩、転石)が特定できません。掘削長が判別できる鮮明な図面をご提示いただかずか、各基礎杭における土質別の掘削長(N<20の土砂、N<50の土砂、軟岩、硬岩、転石)をご教示ください。	設計図から読み取りをお願い致します。
6	7月16日	特記仕様書		25-7-1	全断面掘削区間(早期閉合)のトンネル掘削ステップは次のどの方法で計画されているをご教示ください。 ①全断面掘削1進行(1m)後、インバートを1m掘進 ②全断面掘削2進行(2m)後、インバートを2m掘進 ③全断面掘削の進行とは関係なく、インバートを掘進	貴社の施工計画に基づき、貴社にて計画願います。
7	7月16日	特記仕様書		25-7-1	全断面掘削区間(早期閉合)におけるインバート掘削の労務編成は次のどの組合せで計画されているをご教示ください。 ①トンネル世話役1名、トンネル特殊工5名、トンネル作業員1名 ②トンネル世話役1名、トンネル特殊工3名 ③トンネル世話役1名、トンネル特殊工3名、トンネル作業員1名	貴社の施工計画に基づき、貴社にて計画願います。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
8	7月16日	特記仕様書		25—7—1	全断面掘削区間(早期閉合)におけるインバート掘削の機械編成は次のどの組合せで計画されているかご教示ください。 ①油圧切削機 ②大型油圧ブレーカ+バックホウ	貴社の施工計画に基づき、貴社にて計画願います。
9	7月16日	金抜設計書		番号89～93	吹付けコンクリート工に使用する普通ポルトランドセメントは、超大口補正を考慮した単価を採用されているかご教示ください。	土木工事積算基準第3編3「材料の価格」に基づき、貴社の施工計画にて積算願います。
10	7月16日	特記仕様書		25—7—3	鋼アーチ支保工DⅢa(H)ーLで使用している支保工の材料費は見積を採用されているかご教示ください。	土木工事積算基準第3編3「材料の価格」に基づき、貴社の施工計画にて積算願います。
11	7月16日	特記仕様書		25—7—4	小松トンネルで発生するトンネルずりをすり仮置場まで運搬する際に、近傍に家屋がある区間(STA.702～STA.710)を通過しますが、夜間でも運搬可能かご教示ください。	特記仕様書10—3「夜間作業」に示すとおりです。
12	7月16日	特記仕様書		10—3	トンネル工事およびトンネル掘削ずりの仮置場までの運搬は、夜間作業が可能となっておりますが、トンネル掘削ずりの本線盛土箇所への運搬も夜間作業が可能と考えてよいかご教示ください。	特記仕様書10—3「夜間作業」に示すとおりです。
13	7月16日	設計図(3/5)トンネルー(小松トンネル)、(宝珠山トンネル)	5/66～9/66、5/64～8/64		設計図にインバート埋戻し工の単位数量が記載されておらず、施工数量が算定できません。設計断面毎のインバート埋戻し工の単位数量(m ³)をご教示ください。	設計図(5/5)の4～6・13・14/16項に示すとおりです。
14	7月16日	特記仕様書		25—11	水抜きボーリングの削孔費は、次のど的方法で計画されているかご教示ください。 ①土木工事積算基準書(工事用ボーリング工)を準用 ②国交省土木工事積算基準(地すべり防止工(集排水ボーリング工))	貴社の施工計画に基づき、貴社にて計画願います。
15	7月16日	金抜設計書		150 油水 分離ます	油水分離ますDco(E)-1.00-3.30-1.30(用排水構造物標準設計図集No.318)において、グレーチング(本体、受格)、仕切板(仕切板および固定用付属品)の材料費が計上されているかご教示ください。計上されている場合、物価資料等による積上と見積のどちらを採用されているかどうかをご教示ください。	標準図集に示す材料について計上しています。 また、材料費は貴社の施工計画に基づき、貴社にて積算願います。
16	7月16日	特記仕様書		25—14	土木工事積算基準ではロックボルト工およびフォアボーリング工の雑品は率計上することになっていますが、長尺鋼管先受け工(先行削孔工、打設工、および注入工)でも雑品を率計上するものと考えてよいかご教示ください。	貴社の施工計画に基づき、貴社にて積算願います。
17	7月16日	数量明細表	17		目隠板工 存置工の契約数量は、金抜設計書番号162_目隠板工 設置工Aの数量のみが対象となっていると推測されます(127.715m月=3.115m×41か月)。目隠板(Y)にて設置した目隠板賃料の計上の有無をご教示ください。計上する場合はどの単価項目に計上すればよいかご教示ください。	交付図書に示すとおり、「目隠板 設置工」にて設置したうちの一部を「目隠板 撤去工(Y)」「目隠板 設置工(Y)」にて再設置する計画です。 そのため、「目隠板 存置工」の契約数量には、「目隠板 設置工(Y)」にて設置する目隠板の賃料も含まれています。
18	7月16日	設計図(2/5)-小松上の沢橋(下部工)	42/43		工事用仮桟橋工Aに使用している覆工板の種別は、従来型、補強型および表面のすべり止め加工の有無をご教示ください。	交付図書に示すとおりです。
19	7月16日	設計図(2/5)-小松上の沢橋(下部工)	42/43		工事用仮桟橋工Aに使用しているボルトの種別ごとの数量をご教示ください。	交付図書に示すとおりです。
20	7月16日	設計図(2/5)-草水高架橋(下部工)	72/75		工事用仮桟橋工Bに使用している覆工板の種別は、従来型、補強型および表面のすべり止め加工の有無をご教示ください。	交付図書に示すとおりです。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
21	7月16日	設計図(2/5)-草水高架橋(下部工)	72~73/75		工事用仮桟橋工Bに使用しているボルトの種別ごとの数量をご教示ください。	交付図書に示すとおりです。
22	7月16日	特記仕様書		25—22	週休2日推進に係わる諸経費額の算定において、補正後の一般管理費の差額の計上の有無をご教示ください。計上する場合は、どこに計上すればよいかご教示ください。 ①金抜設計書 番号196 諸経費① ②金抜設計書 番号199 週休2日推進に係わる諸経費額	特記仕様書25—22「週休2日推進工事に要する費用」に示すとおり、一般管理費の差額は計上しておりません。
23	7月16日	金抜設計書		番号196 諸経費①	共通仮設費、現場管理費の率の補正は、「一般交通影響あり(1)」、「一般交通影響あり(2)」あるいは「補正しない」のいずれかご教示ください。	土木工事積算基準第2編1—3「共通仮設費」、1—4「現場管理費」に基づき、貴社の施工計画にて積算願います。
24	7月16日	特記仕様書		30—2	吹付設備上屋および汚濁水処理設備上屋の仕様規格(形状寸法、材質)をご教示ください。また、これらの材料費および施工費は見積を採用されているかご教示ください。	貴社の施工計画に基づき、貴社にて積算願います。
25	7月16日	設計図(4/5)-附帯工	55/87		自工区外盛土場に旗揚げされている「敷鉄板6m×1.5m」の設置・撤去費、賃料は、割掛項目の「敷鉄板設置・撤去費」で計上すればよいかご教示ください。	そのとおりです。